パルミラ語碑文(3)

酒　井　龍　一*

Palmyrene Inscriptions 3

Ryuichi SAKAI

は じ め に

本稿は、奈良・シリアパルミラ遺跡学術調査団（樋口隆康団長、泉拓良隊長）における「パルミラ碑文解読マニュアル」作成のための初歩的な学習記録である。これまでの2回は、いわゆる「墓碑文」の概要を把握する作業に努めてきた。まだ初歩的な誤りが多いが、碑文研究の予備作業として試行錯誤を重ねていく。ここ数回は、いわゆる「列柱碑文」をとりあげる。

従来は先学の論文を教材としてきたが、昨年夏には現地で強風・灼熱・高所という条件ながら拓本を数十枚とってきたので、今後は実際の碑文を提示することができる。先ず今回は、列柱道路中央に位置する「四面門」の東側道路南列の6碑文（1～6）と、「ベール神殿」内の南西部の1碑文（7）を検討する。碑文の年代は、前者が西暦257／8～267年、後者が西暦142(？)年のものである。

ついては、次の文献等に依拠しながら作業を進めていく。ただし提示する単語の意味や品詞あるいは人名の表記等は、すべて「目安程度」のものであり、とうてい文法的に正確なものではない。もちろん将来における「パルミラ語辞書」ならびに「パルミラ語文法書」の作成をめざしてはいるが、それには永き時間と無数の試行錯誤が必要である。

引用・参考文献

Cantineau, J., 1935 Grammaire du Palmyrénien épigraphique, Cario.

Cawlikowski, M., 1973 Palmyre VI, le temple palmyrénien, Université de Varsovie.

Ingholt, H., 1935 Five dated tombs from Palmyra, Berytus vol. II, American University of Beirut.

Stark, J., 1971 Parsonal Names in Palmyrene Inscriptions, Oxford at the Clarendon Press.

小玉新次郎　1980　『パルミラ ―― 隊商都市』近藤出版社

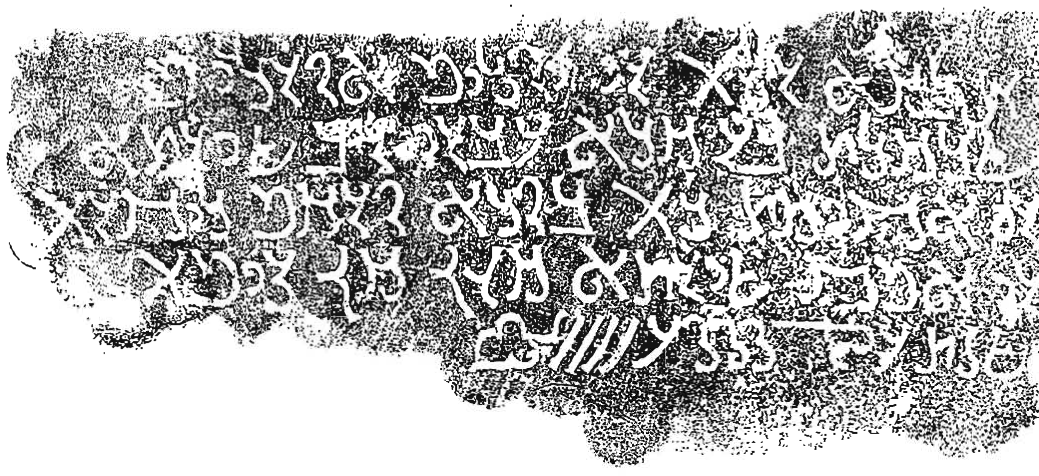
田中秀央　1992　『増訂新版　羅和辞典』研究社

那須雄二池　1989　『現在ヘブライ語辞典』キリスト聖書塾

古川晴風　1991　『ギリシャ語辞典』大学書林

平成4年9月30日受理　*考古学研究室

碑文 1



アウレリウス	ユリウス	の	この	像
隊商	の長	アブディ	マーラ	の息子	シャルマラート
彼の	名誉のために	人民 と	元老院	彼のために	建てた	ところの
彼の	資金	から	無報酬で	隊商	案内した	ところの
			569(A.D.257/8)	年

「𐪀𐪇𐪊𐪁𐪄　𐪅𐪊・隊商の長」であった「𐪇𐪅𐪆𐪄・シャルマラート」に関する碑文である。彼はそのパルミラ名とともに、「𐪃𐪁𐪊𐪋𐪀　𐪃𐪁𐪋𐪁・Julius Aurelius」というラテン名に由来する名前をもつ。「𐪉𐪈𐪆・無報酬」で「𐪀𐪇𐪊𐪁𐪄・隊商」を「𐪌𐪃𐪀・案内した」功績により、「𐪃𐪆𐪊𐪋　𐪀𐪅𐪋𐪅・元老院と人民」が、彼の像を列柱の持ち送り上に建てたものである。ただし、その像は既に失われ現在は存在しない。

動詞の「𐪆𐪁𐪌𐪀・建てた」は、像の建立を意味する用語として一般的に使われる。

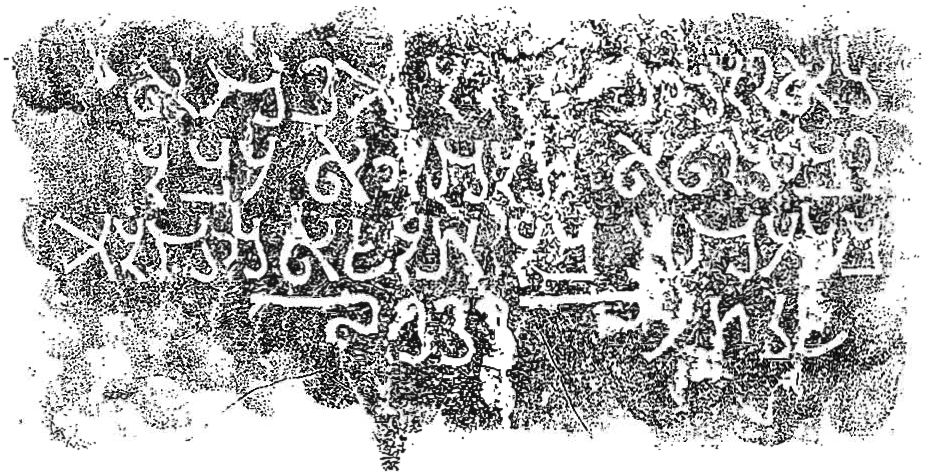
「𐪀𐪅𐪋𐪅・元老院（senetus）」は、ギリシャ語の「βουλή」、そして「𐪃𐪆𐪊・人民」は同じく「δῆμος」からの借用語である。通常、「𐪃𐪆𐪊𐪋　𐪀𐪅𐪋𐪅・元老院と人民」と連続して呼ばれることが多い。

その元老院について、パルミラ研究者・小玉（1980）は、「元老院はパルミラ最高の政治機関である。元老院議員の定数は明らかでないが、会議には書記と二名の執政官が参加した。書

記は人民の代表として加わったので、「元老院と人民」の書記と呼ばれた。二名の執政官（コンスル）制はローマ共和政時代にさかのぼる古い制度であり、シリアではボスラ等の都市にその例がみられる。執政官は元老院議員でもあり、また軍事権を掌握して将軍（ストラテゴス）としての役割をも果たしたと思われるが、執政官の選出方法、任期、職務内容などは明らかでない」と解説している。

碑文の最後にみるセレウコス暦の569年は、何月かの明記がないので、西暦では257年か258年のいずれかに該当することになる。

碑文 2



𐪀𐪁𐪃𐪄	𐪇𐪈𐪉𐪊	𐪋𐪌𐪍𐪎𐪏𐪐
騎士	ウォロード	アウレリウスのために
𐪑𐪒𐪓	𐪔𐪕𐪖𐪗𐪘	𐪙𐪚𐪛𐪜𐪒𐪝
造った	タドモル(パルミラ)人	また 元老院議員
𐪞𐪟𐪠𐪡𐪢	𐪣𐪤𐪥𐪦	𐪧𐪨 𐪩𐪪𐪫𐪬𐪭
彼の 名誉のために	ハルシャ	の息子 ベルヤキブ
𐪮𐪯𐪰𐪱𐪲𐪳	𐪴𐪵𐪶	
5 7 0 (258/9)	年	

「𐪀𐪁𐪃𐪄・騎士」で、かつ「𐪙𐪚𐪛𐪜𐪒𐪝・元老院議員」であった人物・「𐪇𐪈𐪉𐪊・ウォロード」に関する碑文である。その名前は「Hurauda」というペルシャ名に由来するという(Stark 1971)。彼はまた「𐪋𐪌𐪍𐪎𐪏𐪐・Aurelius」というラテン名に由来する名前をもつ。碑文中の「𐪇𐪈𐪉𐪊」の初め2文字は欠落し不明瞭。3～6も、この人物に関する碑文である。

「𐪑𐪒𐪓・造った」は、「𐪔𐪕𐪖𐪗𐪘・建てた」とともに、よく使われる動詞である。

彼の身分を示す「𐪀𐪁𐪃𐪄・騎士」は、ギリシャ語の「ιππικος・騎士」から由来するとみられる。同じく身分を示す「𐪙𐪚𐪛𐪜𐪒𐪝・元老院議員」は、ギリシャ語の「βουλ

εὐτης・元老院議員」からの借用語とされる。「ﾀﾄﾞﾓﾙ・タドモル」は、いうまでもなく「パルミラ」の原地名である。当然ながら、「ｱﾗﾌﾞﾀﾄﾞﾓﾙ・タドモル人」はギリシャ・ラテン語で表現される「パルミラ人」を指す。ペルシャ的・ラテン的名前をもつこの人物に対し、パルミラ人と明記されていることは面白い。

セレウコス暦570年は、何月かの明記がないため、西暦258年か259年に該当する。

碑文 3

ｱﾗﾒﾗｸ	ｺﾛｺﾛﾀﾞ	ﾔﾗﾔﾗ	ｺﾗﾊﾞﾗｺﾞｽ
(身分B)	(身分A)	ウォロード	セプティミウス

ｴﾀﾞﾗﾗｽ	ﾊﾗﾏｱ	ﾗﾔ	ｱﾀﾞﾗﾏﾔﾔ
彼の名誉のために	建立した	ところの	(身分C)

ｱﾀﾞﾗ	ﾔﾔｿﾞﾚ	ﾀﾞﾗ	ﾔﾗ｜ﾔﾗｽ	ｺﾗﾚﾔｱ	ｺﾗﾚﾔﾗ
パイラ	シャドウ	の息子	ナブザブド	アウレリウス	ユリウス

ｴﾊﾏﾀﾞ	ｱﾗﾗﾗﾏ	ﾗﾔ	ｱｲﾀﾞﾛｺｱ
彼の 友	植民地	の	将軍

ﾗﾔﾗｺｽ	ﾏﾀﾞﾗｽ	////ﾌﾞﾗﾗﾗﾌﾞｽ	ﾊﾗﾚ
キスルール	月に	5 7 4 (262)	年

これも「ﾔﾔﾔﾔ・ウォロード」に関する碑文である。その名前は、先述のようにペルシャ名に由来するが、彼は、加えて「ｺﾗﾊﾞﾗｺﾞｽ・Septimius」というラテン名に由来する名前をもつ。碑文2ではウォロードとラテン名のアウレリウスが記されていたが、碑文3ではセプティミウスという名前も記されている。後で紹介するように、小玉（1980）によると、ウォロードの正式名は、セプティミウス＝アウレリウス＝ウォロードということなので、両者は同一人物ということになる。

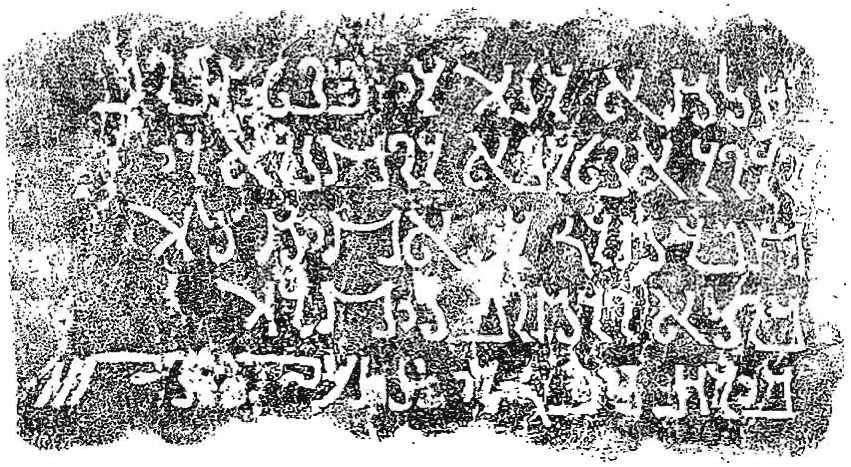
注目点は、両者が同一人物ながら、記されている身分が両者で異なることである。名前に続く3つの単語（「身分A・B・C」）は、その身分を表わす。残念ながら、妥当な和訳はできないが、Cantineau(1935) によれば、Aの「𐪀𐪁𐪀𐪇𐪄」はギリシャ語の「κρτιστος」（貴族等）からの借用語で、ラテン語の「vir egregius」（名誉ある市民等）に該当。Bの「𐪆𐪃𐪇𐪁𐪆」はギリシャ語の「ἐπιτρος」（知事・総督等）からの借用語で、ラテン語の「procuraeur」(収税官等)の該当語。そしてCの「𐪆𐪇𐪅𐪄𐪇𐪊」は、ラテン語の「ducenarius」の借用語とされる。「ducenarius」は、『羅和辞典』では「200の」等の意味であり、身分とは無関係の単語のようにみえる。「ducātus・最高司令官」にでも関係するのだろうか。

その像を建てた「𐪊𐪄𐪇𐪇・彼の友」の「𐪊𐪅𐪀𐪅𐪅・ナブザブド」は、ギリシャ語の「𐪆𐪇𐪁𐪀𐪆・将軍」という身分をもつ。それは、ラテン語の「strategus」からの借用語で、ギリシャ語の「στράτηγος・将軍」に該当しよう。

「𐪆𐪀𐪅𐪄・植民地」はラテン語「colonia ・植民地」からの借用語である。

セレウコス暦574年キスルール月は、312を引き算して、西暦262年12月に該当する。

碑文 4



𐪀𐪊𐪃𐪄𐪁𐪃𐪀　𐪀𐪇　𐪊𐪅𐪇　𐪄𐪅𐪇
セプティミウス　の　この　像

𐪀𐪇　𐪆𐪇𐪅𐪄𐪇𐪊　𐪆𐪃𐪇𐪁𐪃𐪆　𐪇𐪊𐪇𐪊
の　（身分C）　（身分B）　ウォロード

𐪊𐪅　𐪄𐪀𐪄𐪆　𐪀𐪇　𐪅𐪇𐪄　𐪇𐪀𐪄
彼のために　建てた　ところの　われわれの主君　カエサル

𐪊𐪇𐪄𐪀𐪅　𐪀𐪊𐪄𐪇𐪊　𐪆𐪅𐪊𐪄𐪇
彼の　名誉のために　人民　と　元老院

𐪀𐪀𐪀𐪀𐪃𐪃𐪃𐪀𐪅　𐪄𐪅𐪃　𐪀𐪇　𐪅𐪀𐪀𐪅　𐪇𐪇𐪀𐪅
5 7 3 (262)　年　の　ニサン　月に

これも、碑文2・3と同一の「ウォロード」に関する碑文である。この像も今は存在しない。碑文2にある身分Aの記載はなく、B・Cは先の碑文と共通し、別に「われわれの主君　カエサルの」という肩書きが付加されている。

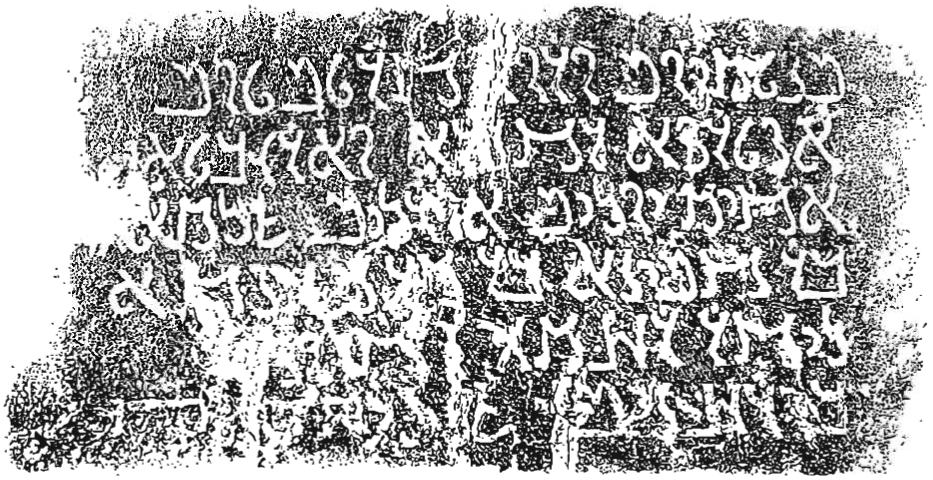
碑文5

(身分B)	(身分A)	ウォロード	セプティミウス
ユリウス	建てた	(身分D)	そして　(身分C)
騎士	ヤダ	セプティミウス	アウレリウス
名誉のために	サリクー	ハイラン	アレキサンドロス	の息子
の	シワン	月に	また彼の守護者	彼の友
577(266)？	年			

この碑文も2・3・4と同じく、ウォロードに関するものである。これは、「彼の友人で守護者」の「騎士」である「ヤダ」が、彼の像を建てたもの。こうしてみると、同一人物の像を、短時間の間に複数を建てることもあったようだ。ただし、その像も今は存在しない。

人名に続いて、先に紹介した身分A・B・Cに加えて、「身分D・」（市の司令官？）という単語が付加されている。

碑文 6



（身分A）　ウォロード　セプティミウス

（身分D）　そして　（身分C）　（身分B）

シャルマ　アウレリウス　ユリウス　建てた

騎士　マヤナ　の息子　カシアヌス　の息子

また彼の 守護者　彼の 友　名誉のために

5 7 8 (A.D.267)　年　ニサーン　月に

これも同じく、碑文2・3・4・5と同一人物のウォロードの像を建立に関する碑文である。彼の友である「＊＊＊＊・シャルマ」が、それを建てたことを記している。ここにも、人名に続き、4つの身分が書き込まれている。

これまで紹介してきたウォロードが大いに活躍した有名人であったことは、これらの碑文から推察できるが、小玉（1980）は次のような彼のプロフィールの紹介をしている。

> またこれら2将軍のほかにセプティミウス＝アウレリウス＝ウォロードがいる。ウォロードはペルシャ名であるが、やはりパルミラ人であり、行政長官、祭祀長などの要職を歴任したことが、いくつかの碑文によって分かって

いる。ゼノビアの遠征中、パルミラにあって留守をあずかったのも、この人物かと思われる。

先にとりあげた身分を表す単語の中に、その「行政長官」や「祭祀長」に該当するものが含まれるかもしれない。なお、2人の将軍とは、セプティミウス＝ザブダーと、セプティミウス＝ザッパイという、西暦273年のパルミラ崩壊の直前に活躍した人物であると紹介されている。

ここで、5つの碑文に記載されているウォロードの身分を、下に整理しておく。

ウォロードの身分		西暦 258/9 碑文2	262 同3	263 同4	266 同5	267年 同6
𐪀𐪘𐪁𐪇	(騎　士)	○				
𐪀𐪆𐪉𐪊𐪋𐪌	(元老院議員)	○				
𐪋𐪉𐪆𐪋𐪆𐪘	(身分A)		○		○	○
𐪀𐪁𐪉𐪆𐪁	(身分B)		○	○	○	○
𐪀𐪉𐪊𐪘𐪇	(身分C)		○	○	○	○
𐪀𐪆𐪌𐪉𐪉𐪀	(身分D)				○	○

碑文 7

𐪉𐪌 𐪀𐪊𐪇 𐪉𐪌 𐪀𐪋𐪊 𐪉𐪌 𐪀𐪊𐪇 𐪉𐪌 𐪀𐪋𐪊 𐪋𐪇 𐪇𐪊𐪇 𐪀𐪇𐪊𐪇
の息子　ハラー　の息子　ネサー　の息子　ハラー　の息子　ネサー　の　この　像

𐪘𐪊𐪋 𐪋𐪇 𐪀𐪃𐪉𐪋𐪆 𐪋𐪊𐪌 𐪇𐪋 𐪇𐪊 𐪋𐪇 𐪋𐪋𐪌𐪌 𐪉𐪌 𐪊𐪀𐪌𐪉
上った　ところの　隊商人　達　彼のために　建立した　ところの　アビサイ　の息子　ラファエル

𐪆𐪉𐪇𐪊 𐪉𐪌𐪆 𐪋𐪇 𐪊𐪋𐪇𐪌 𐪀𐪋𐪆𐪊𐪊𐪀 𐪆𐪇𐪉 𐪃𐪉𐪌 𐪆𐪇 𐪇𐪇𐪌
彼らに対し　意にかなった　ところの　故に　ボロゲシア　から・また　フォラート　から　彼とともに

-- 𐪇𐪇𐪌 𐪉𐪌𐪇𐪇 𐪊𐪌𐪇 𐪆𐪉𐪉𐪊𐪇𐪌𐪌 𐪆𐪉𐪇𐪋𐪇𐪌 𐪇𐪇𐪌
こと　すべてにおいて　彼らを援助した・また　彼らを引率した　助けた・また

(欠) 𐪀𐪀𐪀𐪁𐪌𐪌𐪁𐪀𐪀𐪀𐪀 𐪃𐪊𐪋 𐪆𐪋𐪌 𐪇𐪉𐪋𐪌
4 5 3 ? (A.D. 142?)　年　ニサーン　月に

これまでが列柱道路に刻された碑文であったのに対し、パルミラ遺跡の中核である「ベール神殿」内の碑文を1例だけ紹介しておこう。同じく活躍した人物の像の建立に関する碑文である。その年代は、碑文1～6より100年以上もさかのぼる。

この碑文は、小玉（1980）によって、次のように滑らかな日本文で紹介されている。

> これはアビッサイの息子ラファーエルの息子のハラーの息子のネサーの息子のハラーの息子のネサーの彫像である。フォラート（ペルシア湾岸の都市）およびボロゲシアから彼とともに上った隊商人たちが掲げた。彼が彼らを快くもてなし、引率者となり、かつあらゆる方法で援助した故に、彼に敬意を表するために。四五三年ニサーン月に。

「𐪀𐪁𐪄𐪅𐪆𐪇・ボロゲシア」および「𐪈𐪉𐪊・フォラート」は、共に都市の名前である。

「𐪋𐪌𐪍・上った」、「𐪎𐪏𐪐・また助けた」、「𐪑𐪒𐪓・意にかなった」等はよく使われる動詞である。

また、「𐪔𐪕𐪖𐪗𐪘𐪙・彼らの引率者（として）、あるいは、彼らを引率した」、および「𐪚𐪛𐪜𐪝𐪞𐪟𐪠・また彼らを援助した、あるいは、また彼らの援助者（として）」の語句は、まだ検討の余地を残している。

身分・階級等に関する単語

最後に、「身分・階級等に関する単語」を、これまでに気のついた分だけ掲げておく。訳語や対応関係は目安程度であり、まったくの「的はずれ」も含むとみられる。

皇帝	𐪀𐪁𐪂𐪃𐪄	将軍	𐪅𐪆𐪇𐪈𐪉
女王	𐪊𐪋𐪌𐪍𐪎	騎士	𐪏𐪐𐪑𐪒
元老院と人民	𐪓𐪔𐪕𐪖 𐪗𐪘𐪙𐪚	隊商の長	𐪛𐪜𐪝𐪞 𐪟𐪠
元老院議員	𐪡𐪢𐪣𐪤𐪥	百人隊長	𐪦𐪧𐪨𐪩𐪪𐪫
議長	𐪬𐪭𐪮𐪯𐪰𐪱𐪲𐪳	主君	𐪴𐪵𐪶
書記	𐪷𐪸𐪹𐪺𐪻	守護者	𐪼𐪽𐪾𐪿
執政官	𐫀𐫁𐫂𐫃𐫄	～の長・頭	～ 𐫅𐫆
理事官	𐫇𐫈𐫉𐫊𐫋	司祭	𐫌𐫍𐫎𐫏
十大官	𐫐𐫑𐫒𐫓	聖人	𐫔𐫕𐫖𐫗𐫘
財産管理者	𐫙𐫚𐫛𐫜𐫝𐫞	兵士	𐫟𐫠𐫡𐫢
収税人	𐫣𐫤𐫦𐫥	射手	𐫧𐫨𐫩𐫪
税の請負人	𐫫𐫬𐫭𐫮𐫯	軍隊	𐫰𐫱𐫲𐫳
住民達	𐫴𐫵𐫶𐫷𐫸	商人	𐫹𐫺𐫻𐫼
隊商	𐫽𐫾𐫿𐬀𐬁	外国人	𐬂𐬃𐬄𐬅𐬆
護衛	𐬇𐬈𐬉𐬊	奴隷	𐬋𐬌𐬍
代理	𐬎𐬏𐬐𐬑𐬒	友	𐬓𐬔𐬕𐬖𐬗